# 修練会の気になる１冊（ほん・本・ブック）

公益財団法人豊島修練会　令和２年７月（通算第 44 号）

## 子どものほん（子ども、小学生＆中学生）

**海老名香葉子作・林家しん平絵「えくぼのかよちゃん」金の星社　1320 円**

作者のえびなかよこさんは、1945 年 3 月 10 日（今から 85 年前）の東京大空襲で家族６人を失い、一人ぼっちになりました。平和への祈りと、下町（台東区根岸）のよさと、地球上の平和を願って、この絵本を書いたそうです。子供向けの絵本ですが、小学生や中学生も、平和の大切さを考えるヒントになります。家族で平和について話し合うこともいいですね。

## 大人の本（パパ＆ママ、ジジ＆ババなど）

**米倉貴裕著「小学生と親が楽しむ・初めてのプログラミング」さくら舎　1980 円**

今年から小学校で、プログラミング学習が必修になりました。算数科、理科、総合的な学習の時間、特別活動などで学習します。どんなことを学習するのか、お子さんと一緒に学習してみませんか。

内容は、5 時間で学習できるようになっていて、1 時間目「プログラミング入門」、2 時間目「コンピュータグラフィックとプログラミング」、3 時間目「ロボットとプログラミング」、4 時間目「きれいで速く作るプログラミング」、5 時間目「クラウドとオンラインと AI」で、順調にいけば 5 時間で、バッチリ分かるようになっています。

## 学校の先生のブック（小学校・中学校の先生）

**田中博之著「主体的・対話的で深い学び・学習評価の手引き」教育開発研究所　2420 円**

学習評価は、子供に質の高い学力を定着・維持・向上させるため、教師の側から考えることが多かったように思います。授業の中で子供たちに、分かるようにする、できるようにする、考えて問題解決ができるようにする、意欲的に取り組めるようにする、成績を付けて指導要録を作成し、通知表で保護者に知らせることなどなど、ある意味当然のことでした。

著者は、教師目線の「指導と評価の一体化」をコペルニクス的に転換し、子供の視点に立って「学習と評価の一体化」とし、子供が主体的に学ぶ、対話的に学ぶ、深く学ぶための学習評価の理論と実践の提案をしています。学ぶことの多い１冊です。　　（BOKE－K）

★備考★話題提供のために紹介しているだけで、購読を勧めるものではありません。

[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」「気になる１冊」をはじめ「一宇荘」「至楽荘」「成美教育文化会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。